

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

大竹市教育委員会

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入に生徒に持たせる工夫があり、課題設定をしやすい。単元でつけたい力が明確に示されている。 ・作品例が学習の手順それぞれに示されていて、具体的で分かりやすい。 ・豊富な種類の図表を扱っており、図表の役割を問う課題も設定されているので、図表の効果や特徴について考えることができ、言語活動に生かすことが可能である。 ・文法は説明と問いがセットになっており、授業の構成がしやすい。また、細かな使い分けが特集されており、紛らわしい文法を押さえる場合は有効である。 ・何を学ぶかが明確に示され、視覚的に見やすいつくりになっている。
書 写	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つけよう→確かめよう→生かそう」という三段階で学習過程が示されており、それぞれの過程でどのような学習をするのかが明確で、活動の見通しが立てやすい。 ・手本が平明な文字で示されており、中心線や補助線があり、学びやすい手本である。28の教材が動画で書き方を確認でき、いろいろな活用の仕方が考えられる。 ・学ぶべきポイントが「書写のかぎ」という形で示されていて、学習者にとって付けたい力が明確である。 ・視覚的に見みやすく、学習計画も分かりやすい。
社 会 (地理的分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を解決するために、項の学習の最後（見開き2ページの下部）に取り組む課題が設定されており、「チェック」で基礎的・基本的な内容を確認したのち、「トライ」で発展的な学習ができるよう工夫されている。（p 4, 9, 11, 13, 17 など） ・編・章の学習を貫く「探究課題」を設定し、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという3つの流れで構成し、クイズ作りなど楽しみながら生徒が自主学習できる探究的な学習活動も仕組んでいる。（p 4, 5, 19, 31 など） ・「日本の諸地域」の学習の進め方について、地域の特色をとらえる視点がカテゴリー別に示され、7地方の学ぶ視点を示す一覧表があるため、分かりやすい。（p 184） ・「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、他者との協働学習から学ぶことができるよう課題が設定（p 18-19, 86-87 など）されており、各章末での「〇〇の学習をまとめよう」や「探究課題を解決しよう」のコーナーで、調べたり考えたりしたことを自分の言葉でまとめる学習が設定されている。 ・どの章にもブレなく指導できるよう学習課題が設定されており、社会科における課題発見解決学習が進めやすい作りになっている。 ・巻末の資料が充実していて、生徒にとって分かりやすい。
社 会 (歴史的分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・各章・各節の学習を貫く「探究課題」を詳細かつ明確に示し、さらに1単位時間の学習の「学習課題」が設定され、章の終わりには「探究のステップ」において、まとめる手順も示されている。 ・「地域の歴史を調べよう」の中で、地域の復興と平和への思いの視点から、被爆地広島についての調査を紹介している。 ・地理的分野と同様に、学習課題がしっかり立てられており、生徒にとって課題発見解決学習が進めやすい作りになっている。 ・巻末の資料や説明が充実している。

<p>社会 (公民的分野)</p>	<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「効率と公正」のような公民的な見方・考え方を働かせ考察させる課題（例：p 164）が設定されている。また、具体的に働かせる見方・考え方が示されている。 ・学習指導要領でも「見方・考え方を働かせる」ことが重要視されており、単に知識を身に着けるのではなく、思考したり判断したり表現したりさせるための工夫がある。 ・地理や歴史でも取り上げたように学習課題が明確に示されていて、課題発見解決学習に取り組みやすい構成である。 ・導入やまとめが工夫されていて、主体的な学びが実践しやすい。
<p>地図</p>	<p>帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色が鮮明で地図が分かりやすい。（東p 15-16, 帝p 9-10を比較） ・地図の表記（色、活字、境界線など）が工夫されており、読み取りやすい。（例えば帝p 1-3と東p 1-3を比較） ・地図本来の機能を兼ね備えていて、資料として活用しやすい。 ・鳥瞰図にも地名の記載があり分かりやすい。
<p>数学</p>	<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」の隣にポイントとなる見方・考え方が明示しており、以後の学習で大切なポイントを抑えることのできる工夫がある。 ・小数や分数を含む方程式では解答例の枠内に吹き出しを設けて手順を明記し、理解を助けている。 ・「数学的活動のページ」では、課題発見から課題解決までの具体的な活動が示されており、モデルの考え方とともに自分の考えも説明し伝え合う活動が設定されている。また、すべての「Q」に、生徒のつぶやきや疑問が吹き出しの形で示され、話し合い活動を意識した構成になっている。 ・練習問題の数が多いことも特徴であり、基礎・基本の力を身に付けやすい構成である。 ・問題の解答までの過程について詳しい記載があり、基礎・基本の定着を図るうえで、生徒に分かりやすい。
<p>理科</p>	<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究のフローチャートで探究の過程が明確化されており、「課題に対する自分の考えは?」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動が配置されている。 ・各ページ左下に探究のどの過程を学習しているかが図式化して示され、生徒に学習過程を意識させる工夫がある。 ・写真とモデル図の構造を工夫し、粒子概念を理解しやすい工夫がされている。 ・他者と比較して、安全に関する指導が丁寧で分かりやすい。 ・本の形状に工夫があり、学びやすく情報量も確保されている。
<p>音楽 (一般)</p>	<p>教芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、大きなねらいとそのねらいに基づく具体的な学習課題が示しており、見通しをもった学びが実現できる。 ・共通事項の説明が楽譜と共に説明されており分かりやすい。 ・学習の仕方がきめ細かく、丁寧に扱われていて学びやすい。 ・全校合唱「ふるさと」は、難易度が高すぎず学びやすい。 ・内容が丁寧に詳しく、生徒にとって興味を引くものが多い。
<p>音楽 (器楽合奏)</p>	<p>教芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を深めるポイントが分かりやすく提示されている。 ・各楽器がバランスよく取り上げられている。 ・ギターダイアグラム（コード表）が、イラストで押さえる弦が分かりやすく示されている。 ・器楽演奏を学ぶ中学生にとって、学習の仕方が丁寧に示されていて学びやすい。 ・内容が丁寧に詳しく、生徒にとって興味を引くものが多い。

美術	光村	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的にすっきりとした構成。地色を変えての囲んだ記事などレイアウトの工夫で見やすい。QRコードでの指示も明確で動画や参考作品、制作工程、作品解説などが見られる。 • 一つの題材の中で「表現」「鑑賞」を一体的に学べるような構成となっており、学習の流れが分かりやすい。 • 話し合いを促す記述が多く、どの題材も最初に鑑賞が入るため自然に言語活動が活発になりやすい。「話し合ってみ方や考え方を広げる」という項目がある。 • 生徒がねらいを明確にして学びやすい。 • 単元構成がよく、創作活動の充実を図れる内容となっている。
保健体育	学研	<ul style="list-style-type: none"> • 学習の流れの中で、身近な課題について、生徒が自ら学び、自ら考えることができるような工夫が見られる。 • 生徒の発達段階を踏まえた身近な問題や自他の問題が取り組めるように、学習指導要領に示された内容をもとに学年別に構成されている。 • 生徒が自分の生活に結び付け、切実に課題に取り組める内容になっている。 • 心の発達についても多く取り上げられている。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> • ガイダンスにおいて技術の見方、考え方、学び方の最適化について丁寧に説明があり、技術を学ぶ本質的な意義について気づかせるよう工夫されている。 • 高校への学習内容につながるコンピューターの基本操作の学習が丁寧に扱われている。 • 技術の専門性について地域の実態を生かしながら学ぶことができる。 • 生徒の実態に応じて指導の重点化がしやすい。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> • 生活の課題と実践の具体例が12テーマ示してあり、学習の流れが分かりやすく提示されている。また、対話的、協働的な学習を展開するための、思考ツールの紹介や、具体的な実践例の紹介により、学びを深め、課題解決を家庭だけではなく、社会につなげていくという展開の工夫がある。(p 267~283) • 「高齢者の体の特徴」における「高齢者とのかかわり方」では、実際の介助の仕方を、資料の図によって理解しやすい。(p 259) • 包丁の持ち方、切り方、食材の切り方等が絵や写真を使って、丁寧に説明してある。また、ページの下に定規がついているので、おおよそのイメージが付きやすい。技能を身に付けやすい工夫がある。(p 58~59) • 日常生活へのつながりや現代社会の課題への直結など、生活に生かしやすい内容である。
英語	東書	<ul style="list-style-type: none"> • 小学校からの接続は、1学年の「Unit 1」～「Unit 5」まで続く。各「Unit」の「Enjoy Communication」では小学校で学習した重要文型が短い対話に盛り込まれてふり返りができるようになっている。小学校外国語科の教科書も「New Horizon」を使用しており、小学校で学んだ内容がスムーズに中学校に接続される。 • 3学年最後の「Stage Activity」は、「Let's Have a Mini Debate」であり「主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる」がGOALで、ディベートの手順が示してある。取り上げられている論題は、「Japan is a good country to live in.」で、3年間の学習の総まとめとなるレベルの高い言語活動が設定されている。 • 文法を学ぶための視覚的支援、ステップが示されており、地域の題材もとりあげていて、読み応えのある内容が掲載されている。 • 小学校からの学習の接続が円滑にできる。

道 徳	日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の終わりに2問示され、「考えてみよう」で中心発問を、「自分に+1（プラスワン）」で自分との関わりについて深めるための問いがある。 ・別冊「道徳ノート」があり、特別な教科である道徳の評価に生かしやすい。 ・「道徳ノート」では、「友達の見解や話し合いをメモしよう」という欄も設けられ、多面的・多角的な見方を養うことができる。 ・登場人物が巻頭で、写真やイラストで紹介され、教材の読解を促すための工夫がある。 ・「道徳ノート」は、生徒にとっても指導する側にとっても効果的に活用できる。
-----	-----	--

※ 「発行者」欄には、教科書目録により略称を記入。